

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館



冬のおとなミュージアム

秘 密

ミュージアム探偵の事件簿 — 消えた少女の秘密 —

その「秘密」は、ある冬の朝、突然我々の前に舞い降りた。
福岡市に暮らすひとりの少女が消えたのだ。

その失踪が少女自らの意志だったのか、それとも何者かによって連れ去られたのか…
様々な憶測が飛びかうなか、この「秘密」の解決に3人の探偵が動き出した。

さあ、彼らの捜査の【相棒】として、
消えた少女の「秘密」を一緒に解き明かそう！

説明・注意事項

これは、福岡アジア美術館・福岡市美術館・福岡市博物館の連携共同企画展「秘密—かくす・のぞく・あばく」を鑑賞しながら、少女の行方を追うミステリー企画（フィクション）です。

各館では、それぞれの展示作品にもとづいた「問題ワークシート」を設置しています。その答えを本紙裏面の「アンサーシート」に書き込みながら、3館を巡ってください。

アジア美術館の問題が解けた方は、アジアギャラリーの受付にお申し出ください。アンサーシートが全6問正解していれば、先着順で記念品を進呈いたします。（※福岡市美術館・福岡市博物館でも、それぞれの全問正解者に記念品を用意しています。なお、記念品には数量に限りがありますので、その点ご了承ください。）

また、3館すべての問題に正解し、アンサーシートの暗号が解けた方は、記入済みのアンサーシートを最後に来館された館の受付にご提出ください。先着順で、限定記念品を進呈いたします。（※記念品には数量に限りがありますので、その点ご了承ください。）

なお、問題ワークシートの解答以外で何かご不明な点がある場合は、遠慮なくお申し付けください。

実施期間は、2016年2月14日（日）まで

※各館休館日にご注意ください

主催：福岡市（福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館・文化振興課）

『ミュージアム探偵の事件簿：消えた少女の秘密』

アンサーシート

			1	2	3	4	5	6	7	8
福岡アジア美術館	①	A								
	②	B								
	③	C								
	④	D								
	⑤	E								
	⑥	F								
福岡市美術館	①	G								
	②	H								
	③	I								
	④	J								
福岡市博物館	①	K								
	①	L								
	②	M								
	②	N								
	③	O								
	③	P								
	③	Q								
	③	R								
	④	S								
	④	T								
	④	U								
	④	V								

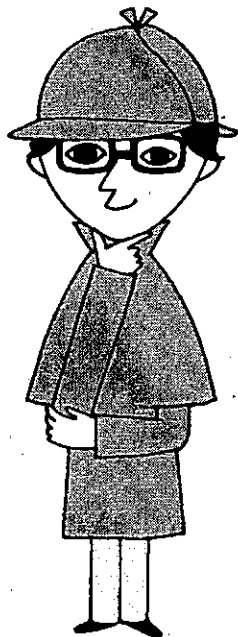
J1 J2 B1 J4 T5 N1 L1 T4 M3 D1 A5 の

Q2 V1 O3 C1 K2 - G2 K1 P2 F2 A3 。

S1 R2 T5 U6 T5 U7 I1 !!

ミュージアム探偵の事件簿：消えた少女の「秘密」

福岡アジア美術館 編



福岡アジア美術館所属

あじや・ともみち

鯨屋朋道 探偵 (25) ♂

寝ぐせがひどいので、いつも帽子をかぶっている探偵見習い。
火のないところに煙をおこす達人。

「よろしく、相棒。

少女の失踪前後の状況について、

たくさんの目撃情報が寄せられているんだ。

これから目撃者たちに会って、聞き込みをするつもりだけど、
君も一緒に来るかい？」

目撃者の証言

それぞれの目撃者は、どの作品について話しているのでしょうか？
それを見つけることが、■の言葉（ひらがな）を知る大きなヒントです。
答えがわかったら、「アンサーシート」に書き込んでください。
目撃者は全員で6人です。

目撃者①

「きっと事件に巻き込まれたのね。

だから、声をあげる間もなく連れ去られたんだわ。

この映画のようにね。古いけど ■■■■■では有名なのよ。

でも危機一髪のところ、王子様が助けに来るから大丈夫。

根拠？ そんなものないわ。だってその方がドラマチックじゃないの！」

目撃者②

「昨日、公園であの子を見かけたよ。
鳥のボートがあるけど大濠公園じゃないよ。
木からたくさんの袋をぶら下げてね。
そうそう、中から■■■■の音が聞こえてきたけど、あれはいま流行の遊びかい？
まったく斬新なことを思いつくもんだよ。」

目撃者③

「あの娘、変なやつと暮らしてた。
僕から見たら、まるで爬虫類みたいな、気味の悪いやつさ。
確かだよ、この目で見たんだからね。
でも、あの娘はあいつと■■■■だって言ってた…
あいつじゃなくて、僕と仲よくすればよかったんだよ！」

目撃者④

「権力というのは、本当に恐ろしいものさ。
まるで魔法のように、いろんな人たちが姿を消していくんだから。
ひょっとしたら、きみの探している女の子も、奴らの仕業かもしれない。
■■■のない男たちの。」

目撃者⑤

「一度だけあの子を占ったことがあるわ。
確かに何かを隠していたわね…
だって、私には黒い■■■がはっきり見えたんだもの。
でも、きっとあの子は無事よ。窓は明るい未来の象徴だから。」

目撃者⑥

「あの子の母親なんだけど、すごく落ち込んでたように見えたわ。
だから泣かないでって励ましたら、■■■■を切っただけだって言うのよ。
おばさん、そんなこと言われると応援したくなっちゃうのよね。
探偵さん、あの子に何かあったらタダじゃおかないから！
早く見つけ出して！！」